

平成 27 年度 事業計画書

2015 年(平成 27 年)4 月 15 日～2016 年(平成 28 年)3 月 31 日

1. 概況

本法人は、平成 27 年 4 月 15 日に「一般社団法人トクノスクール・農村研究所」として事業を開始した。本法人にとって、本年は初年度となるため、定款に掲げる 4 つの事業目的の中から、「2・事業活動部門」に記す事業を行うこととし、当面法人の円滑な運営並びに事業内容の広宣活動にも注力する。定款に掲げる事業目的は以下の通り。

- (1) 地域社会問題の現状理解のための学術的調査、研究、啓発および人材派遣等の事業
- (2) 地域社会問題解決のためのプランニングや実践活動およびその支援等を行う事業
- (3) 上記事業を行っている各主体へのアドバイスや提言等を行う事業
- (4) その他当法人の目的を達するために必要な事業

2. 事業活動部門

(1) トクノスクールの開催（助成による啓発活動）

- ①人口減少時代を迎え、家族や集落および地方自治体などの地域づくりについて、社会学者である徳野貞雄が豊富な経験と事例をもとに、講義形式の研究会を行う。対象者は、九州北部の一般市民、学生、行政関係者など幅広く募集する。開講は、毎月 1 回の開講とし、開催場所は福岡市内と熊本県菊池市（8 月からの隔月開催）とする。また徳野が提唱する「役立ちプレミアム世代」の普及と組織化を行う。
- ②前項の研究成果として、公開シンポジウム（「ふるさとシンポジウム」）を開催する。トクノスクール受講者で実行委員会を立ち上げ、開催地の地域の住民や行政の助力を得ると同時に波及効果をもたらす。今年度は、2016 年 1 月に佐賀県三瀬で開催予定。

本事業は、今年度は公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団の助成を受けて実施する。

(2) 集落点検の実施（依頼による調査活動）

依頼のあった各地を対象として、徳野貞雄氏が専門である地域社会学で行う集落点検手法を用いて地域社会問題解決のための調査を行う。平成 27 年度の調査予定地は以下の通り。

①広島県三次市作木町集落点検調査

依頼者：浄土真宗本願寺派

広島県三次市作木町を対象とした過疎地域にある寺院調査。行政が発表した人口減少率や少子高齢化の推移ではなく、住民の生活維持の実態を直に調査することによって、過疎地域の寺院存続に関わる問題の解決策を探ることを目的とする。

調査方法：徳野氏が提唱した T 型集落点検とアンケート調査を用いる。また今回は、他出子のみの調査ではなく、先祖との関係も調査するため、新たに徳野氏が編み出した「法要型 T 型集落点検」を実施する予定である。

調査時期：平成 27 年 9 月を予定。27 年度末までに分析を終え、平成 28 年 4 月（予定）に住民を対象として分析結果の報告会を行う。

②佐賀県唐津市馬渡島集落点検調査

依頼者：唐津市役所

馬渡島を対象として調査を行う。離島過疎地として島の維持存続を目的とする。

調査方法：島内の各種グループや団体の聞き取り調査、アンケート調査などを用い、社会構造や馬渡島諸団体の動向を調査し、島存続の可能性を探る。

調査時期：平成 28 年 3 月までに、一定の調査結果を報告予定。

③長崎県東彼杵町集落点検調査

依頼者：長崎県東彼杵町役場

長崎県東彼杵町を対象とした集落点検を実施する。長崎県内平均より速い速度で人口減少・高齢化が進行しているといわれる東彼杵町で、住民の実態調査を行う。

調査方法：T 型集落点検とアンケート調査を用いる。

調査時期：平成 28 年 1 月を予定。平成 28 年 3 月までに、町民を対象とした調査結果報告会を開催し、調査報告書を発行する。

(3) その他

①講演活動（依頼による啓発活動）

代表理事の徳野貞雄氏が、これまでの豊富な経験と実践活動をもとに、農村や地域の諸問題について、一般市民に広く講演活動を行う。

②ホームページの開設

初年度にあたり、当法人の存在並びに活動内容を幅広く周知する手段としてホームページを開設する。ホームページには活動実績や現在行っている事業などをリアルタイムで掲載し、広く本法人の事業内容を知らしめ、事業活動の充実を図る。

③その他

3. 管理部門

一般社団・財団法に基づく管理運営体制の整備、諸会議の開催、並びに会計業務の円滑な遂行のため、事務局を整備する。

以上